

30 新しい園芸産地づくり支援事業

【2, 257 (2, 273) 百万円】

対策のポイント

実需者ニーズに対応した野菜や果樹、花きの生産拡大を実現するため、水田地帯において水稲から園芸作物への転換を図り、実需者と連携して取り組む新しい園芸産地の育成を支援するとともに、需要が拡大する加工・業務用野菜について、安定生産・安定供給に必要な土壌・土層改良等の取組を支援します。

<背景／課題>

- ・実需者ニーズに対応した野菜や果樹、花きの生産拡大を実現するためには、まとまった規模で大ロット生産が可能な水田地帯において、実需者と連携した新しい園芸産地を育成していくことが重要です。このためには、水田から園芸作物に転換する際の技術面や販売面の課題を克服することが必要です。
- ・また、野菜については、食の外部化や簡便化の進展に伴い、加工・業務用を中心として国産需要が高まっていますが、実需者の多様なニーズに十分に切れ切れおらず、輸入品にシェアが奪われている状況です。このため、収量・品質の安定化、生産コストの低減など、産地の生産構造を改革していくことが必要です。

政策目標

- 野菜の生産数量の増加
(1,195万トン(平成25年度)→1,395万トン(平成37年度))
- 果樹産地面積のうち優良果実の供給面積割合の増加
(5%(平成25年度)→17%(平成37年度))
- 国産花きの産出額の拡大
(3,785億円(平成25年)→5,000億円(平成32年))

<主な内容>

1. 園芸作物生産転換促進事業

水田地帯において、生産者や実需者等の関係者で構成されるコンソーシアムによる推進体制により、産地の合意形成、品種の選定や出荷先の確保、排水対策や栽培技術の確立、機械化一貫体系の導入など、新たな園芸産地の育成に必要な取組を一体的に支援します。

補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：都道府県、民間団体
支援対象者：協議会(生産者、実需者等で構成)、民間団体

2. 加工・業務用野菜生産基盤強化事業

輸入野菜からのシェア奪還に向け、加工・業務用野菜への転換を推進する産地を対象に、加工・業務用野菜の安定生産・安定供給に必要な土壌・土層改良、被覆資材の使用等の作柄安定技術の導入に必要な経費を支援します。

対象品目：キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、かぼちゃ、ほうれんそう、レタス、スイートコーン、えだまめ

補助率：定額
交付先：(独)農畜産業振興機構
事業実施主体：農業者団体等

お問い合わせ先：

生産局園芸作物課園芸流通加工対策室

(03-3502-5958)

新しい園芸産地づくり支援事業

【平成30年度予算概算要求額 2,257(2,273)百万円】

園芸作物生産転換促進事業

- 実需者ニーズに対応した園芸作物の生産拡大を実現するため、**水田地帯において水稻から園芸作物への転換を図り、生産者や実需者等の関係者が連携して取り組む新しい園芸産地の育成を支援。**

【支援内容】

対象品目：露地野菜、施設野菜、果樹、花き

①産地内の合意形成

水稻から園芸作物への転換に向けて、

- ・ 生産者間で生産体制の構想を検討するとともに、
- ・ 流通業者や実需者を含めたコンソーシアムを構築。



生産者間の生産体制の検討

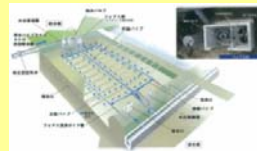


コンソーシアムによる会議

③排水対策や栽培技術の確立

水田地帯で生産転換が可能か検証するため、

- ・ 地下水制御システムによる排水対策の実証や、
- ・ 栽培技術確立のための実証ほの設置、技術講習会等を実施。



地下水制御システム



栽培研修

②品種の選定や出荷先の確保

新たに園芸作物に取り組むに当たり、

- ・ 地域の気象・土壌条件に適した品種の検討を行うとともに、
- ・ 事業実施後の契約取引の実現に向けて実需者と計画的に協議。



品種選定試験



実需者と計画的に協議

④機械・施設のリース方式による導入

まとまった面積でより高い収益を確保できるよう、

- ・ 低コスト生産に必要な機械化一貫体系の導入や、
- ・ 施設野菜の生産に必要なハウス等の導入、
- ・ 導入する機械・施設に対応する栽培技術の実証等を実施。

【機械化一貫体系の導入（キャベツ）】



畝立同時施肥機

全自動移植機

収穫機



試験ほ場での機械実演

加工・業務用野菜生産基盤強化事業

- **加工・業務用野菜への作付転換を推進するため、作柄安定技術を導入する際に必要な経費を支援。**

支援対象

土壌・土層改良、マルチ・べたがけ等の資材の使用、病害虫防除資材の導入 等

対象品目

キャベツ、たまねぎ、にんじん、ねぎ、かぼちゃ、ほうれんそう、レタス、スイートコーン、えだまめ

助成単価

定額（3年間の取組に対して15万円/10a）

作柄安定に係る技術



天地返し（土層改良）



土壌消毒



土壌改良資材



かん水（保水対策）